

白岡市立西小学校

第3学年

うどんうち体験



特色

- 総合的な学習の時間の「食べること大好き」の学習の一環として、普段食べているうどんを粉から作り、食べるまでを体験した。
- 地元の蕎麦打ち会や学校応援団、保護者等多くのボランティアに御協力いただき、食べ物の大切さを学ぶ良い機会となった。

児童の感想

- うどんをゆでたことは、あったけれど、粉から作ったことがなかったの、とても良い経験になった。
- うどんを切る時に、細く切るのが難しかった。
- 蕎麦打ち会の方は、手際がよくて、さすがだと思った。
- 自分で作ったうどんは太かったけれど、食べたら、もちもちして、とてもおいしかった。

成果

- うどんは、子供にとって身近な食べ物であり、それが自分で作れることを知って、食の大切さを感じることができた。
- 蕎麦打ち会や学校応援団、保護者等たくさんの地域の方々にお世話になり、つながりを深めることができた。子供たちは、地域とのつながりを実感して、感謝の気持ちを言葉に表すことができた。